

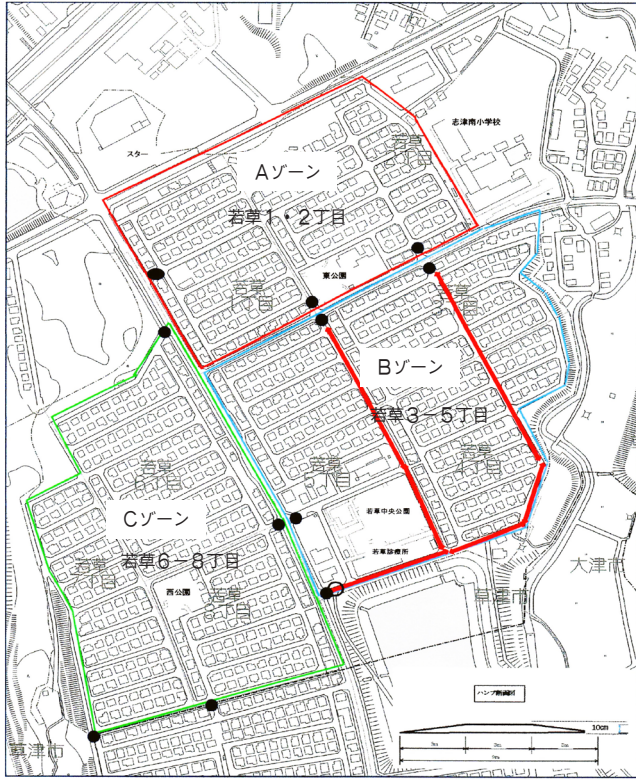


志津南 NEWS

志津南ホームページ
<http://waka-kusa.net/>

発行
 志津南地区まちづくり協議会
 連絡先
 草津市志津南市民センター
 077-563-6206

若草地区「ゾーン30」物理的対策位置図



○ハンプ設置場所 (1か所) ●標識・標示設置位置 (11か所)

← 路側帯設置場所 (歩道がある道路の歩道側は外側線)

「志津南地区交通安全対策協議会」では、交通量調査や速度測定調査などを実施し、そのデータをもとに議論を重ねてきました。このたび、地域内の交通安全対策として、「ゾーン30」の導入についての案を住民の皆さんに提示し、賛否等についてお伺いしたところ、13名の方からご意見をいただきましたが、導入に反対の方はありませんでした。

皆さんから寄せられたご意見をもとに、8月22日、協議会で検討した結果、10月から「ゾーン30」を導入することにしました。

また、カーブミラーの設置についてのご意見もありましたが、これについては該当する町内会で検討していただくこととしました。寄せられたご意見とそ

地域の資源回収

9月15日・10月6日
 若草一丁目～五丁目

9月22日・10月13日
 若草六丁目～八丁目

岡本町西・グリーンヒル
 回収品

古新聞(チラシと一緒に)
 古雑誌・段ボール・古着
 ☆朝9時までに自宅前へ

CATV検討委が中間報告

放送、告知、セキュリティ重点に

飛鳥グリーンヒル地域の若草、青山、松が丘3地域合同のCATV検討委員会(上田恒章委員長)は8月31日、テレビ放送システム、告知放送、セキュリティシステムについて、「地域のあるべきCATVシステム像」に関する中間報告をまとめた。

同検討委員会は今年6月に発足、CATV局運営者のZTVも交え、これまでに3回、開催されました。検討の切り口は、「整備

システムとTV放送の分離は可能なのか?」「各戸のセキュリティ点検について」「告知放送のあるべきサービスについて」の3点で、CATVシステムのあるべき住民サービスについて検討を進めています。

中間報告の内容は次の通りです。

一、CATVに関しては、現在入居が行われている大津市松が丘地区でも、契約条件としてCATVシステム加入契約が行われている。

二、CATVに関しては、T

いとの意見が多数をしめた。

二、セキュリティシステムの点検については、システムを提供するZTVとして、従来通り機能確認を踏襲する責務があるとの旨の発言もあり、早期に点検の仕組みを再構築する必要があるとの結果になった。

ただし、その具体的な方

法等については、3500戸と言う膨大な数からやり方を今後詰めていくことになっている。また松が丘地区ではほぼ新品状態でトラブルもない。

三、コマmercial放送について

最近、同じコマmercial放送が毎週放送され、一部住民に取ってうとましいと

「ゾーン30」の導入決定

「志津南地区交通安全対策協議会」では、交通量調査や速度測定調査などを実施し、そのデータをもとに議論を重ねてきました。このたび、地域内の交通安全対策として、「ゾーン30」の導入についての案を住民の皆さんに提示し、賛否等についてお伺いしたところ、13名の方からご意見をいただきましたが、導入に反対の方はありませんでした。

皆さんから寄せられたご意見をもとに、8月22日、協議会で検討した結果、10月から「ゾーン30」を導入することにしました。

また、カーブミラーの設置についてのご意見もありましたが、これについては該当する町内会で検討していただくこととしました。寄せられたご意見とそ

れに関する対応についての詳細は、別途配付の資料をご参照ください。なお、物理的対策の工事は来年度に入ってからになります。

「ゾーン30」の導入後は、交通量調査や速度測定調査などを実施して、その効果を確認するとともに、住民の皆さんのご意見もいただきながら、必要な対応をしていきますので、皆さんのご理解・ご協力をお願いいたします。

言う発言がでっており、住民アンケートで意識調査をしていく。

◇同検討委では今後、CATVシステムに対する住民アンケートを実施、その結果を踏まえながら検討を進め、来年3月をめどに提言をまとめることとしています。

まち協だより

第5回理事会（平成25年8月3日）

- ①総会のあり方について、正副会長会から次の通り提案があった。
 - (1)総会はまち協の最高議決機関であることの確認。
 - (2)理事会構成員は、総会において議決権を有しないこととする。
 - ・現在は理事会構成員を総会の構成員としていて議決権があるが、理事会は執行機関として総会に議案を付議する機関である。
 - ・総会は議決機関で、理事会が付議した議案を代議員が審議し議決する機関である。
 - ・理事と代議員との役割分担を明確化するものである。
 - (3)代議員は、住民を代表するものとして「班」を単位に選出し、これと各団体の代表者（理事を除く）で構成する。この提案に関して活発な意見交換があったが、9月の各町内会役員会で議論し、それを基に、10月の理事会で審議することとした。
- ②7月19日に市の民生委員推薦会があり、地区から5人の民生委員児童委員と1人の主任児童委員の計6人を推薦していて、この推薦会で承認された。今後、市から県へ、県から国へと推薦され、今年の12月1日から3年間の任期で、厚生労働大臣から委嘱されることになる。
- ③現在、集会所の補修工事が進んでおり、屋根については吹き付け工法としているが、補修が必要な箇所が施工中に見つかったところは部分的に補修している。その分、若干費用が増える。また、若草四丁目集会所用地にある倉庫の屋根がさびていて補修が必要であるが、ほかの倉庫も確認し、必要であればこの機会に補修を行う。ただし、集会所特別会計ではなく、まち協一般会計で処理する。



マグカップ作りに取り組む子どもたち



夕食用の野菜サラダなどを盛りつける



夕食をともにして和やかに国際交流

南っ子がマグカップづくり

留学生を招き国際交流も

志津南地域協働合校推進委員会（小早川勝康委員長）は8月3日・4日の二日間、「南っ子宿泊体験2013」

を志津南市民センターで実施しました。「自分だけのマグカップを作ろう」をテーマに4年

生から6年生の31人が参加、午後1時の開講式のあと、早速陶芸にとりかかり

先生の唐橋焼の陶芸家・若山義和さん（大津市）から「焼き物は何百年でも長くもつものなんだよ」の話に子どもたちはびっくり。顔を追った分りやすい指導で板状にのびた粘土を筒に巻きつけて形を整

小学生の食育講座

志津南地区健康推進員連絡協議会（小早川敏子代表）は8月22日、小学生を対象にふれあいハウス「絆」で

え表面に粘土でアニメキャラクターカラーや花など貼り付け仕上げました。作品はびわこブルーの釉薬を加え窯で焼いたあと夏休み中に子どもたちの手元。夕食は地域の方々の協力でカレーライスを作り、子どもたちは野菜サラダ・フルーツヨーグルトを盛りつけました。また夕食に国際交流を、と立命館大・龍谷大のベトナム人留学生12人を招待、流暢な日本語で子どもたちと会話も弾み楽しい夕食会となりました。食後はベトナムの話聞いたり色画用紙で作ったベ

トナム国旗の帽子を被り力ツコよく敬礼。また留学生のリードで「ちびまる子ちゃん」「マルモのおきて」を合唱。最後はベトナムの素朴な「竹おどり（バンブーダンス）」をしました。綺麗な民族衣装アオザイ姿に変身したお姉さんやお兄さんたちとペアになり、リズムに乗って8本の竹の棒の間を軽やかに飛んで遊びました。二日目の朝は7時半から若寿会の協力を得てラジオ体操からスタートしました。朝食後はみんなでセン

ター内の掃除・片付けをすませるとお世話になった方々を招待しようとする子どもたちは手作りパーティの準備にとりかかりました。テーブルを飾りおえと調理室へ。メニューはいろんな食材をのせたピザ3種を焼き・カナッペ・フルーツポンチを作り招待者を会場へ招き入れ閉校式をかねパーティを開きました。子ども達を温かく見守りお手伝い下さったPTA・子ども会・地域の方がた。小学校の先生方ありがとうございました。（スタッフ一同）



まず、食べ物がどのように体の中の栄養素になるのか、赤・緑・黄の3色の大きなフェルトパネルを使って学んでもらいました。また、自分が食べたいメニューや家族に食べてもらいたいメニューを食材の中から選びパネルにパ

ランスよく貼り付けました。中華料理だったり、ビールのおつまみも出たりとても美味しそうなお献立が完成。「体に必要ないいろいろな食品が勉強できた」「超楽しかった」などの感想が出て朝食の大切さと、バランスの良い食べ方が理解できたようでした。最後は電動式ソフトクリーム機を使い自分たちでクリームをコーンに入れ果物やチョコレイト、ポッキー等で可愛くトッピングして食し夏休みの終わりを楽しみました。

人権研修を開催

志津南地区人権教育推進委員会(宮野軍司委員長)の「町内学習懇談会推進者



研修第3講座が8月24日、志津南市民センターで開かれ、市教育委員会の廣瀬智彦さんが「一人ひとりの人権が尊重されたまちにしていくために」と題して講演しました

33名の参加者は、10月に各町内会で開催される懇談会に向けて、真剣に耳を傾けました。

講演では、意識調査結果から「人権を尊重する社会」になってきていると思う人が増えている反面、「努力し

たい」という人は増えていない現実や、さまざまな人権問題に対する意識が向上しつつある中で、結婚にかかる身元調査など部落差別などにつながることにについてはその認識が低い状況にあることが紹介されました。また、よい人間関係をつくっていくためのコミュニケーションの手法として、相手の気持ちを大切にしながら自分の言いたいことも伝えるアサーティブ(非攻撃的自己主張)な対応を研修を重ねていくことによって、身につけていくことの大切さを強調されました。

今年も元気に体操



最後に、個人を攻撃した差別はがき事件を紹介された。改めて知らないこと

怖さ、正しく知って、行動していくことの重要さを学んでいただけたと思います。

志津南小学校PTA恒例のラジオ体操が夏休みの期間中の7月22日から8月9日までと8月19日から29日までの20日間、朝7時半から地域内の各公園で行なわれました。今年も早朝とはいえず、暑い中、小学生だけでなく未就学児の子どもたちもお兄さんやお姉さんの真似をしながら音楽に合わせて一緒に元気よく体を動かしていました。

このうち、若草中央公園では若草会の鈴木明会長のリードで同会の皆さんや近所の方々と一緒に第二体操まで行い、賑やかに心地よい汗をかいていました。地域の皆さまのご支援ご協力でご無事に終えることができました。ありがとうございました。

近隣の方々には早朝よりお騒がせしご迷惑をお掛けしました。紙面を借りてお詫びいたします。(志津南小PTA地域部)

愛の声かけパトロール



志津南地区青少年育成委員会(斎藤充浩委員長)が各町内会の皆様との協力を頂いて毎年行っている「愛の声かけパトロール」が今年も8月3日から始まりました。写真「愛の声かけパトロール」

料理講習会募集

このパトロールは、来年2月まで、毎週土曜日の夜(冬季は夕方)に実施します。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

志津南健康推進員連絡協議会は「男性のための料理講習会」をテーマに次の要綱で開催します。

- ▽日時 9月28日(土) 10時~13時
- ▽場所 志津南市民センター調理室
- ▽参加費 300円
- ▽持ち物 三角布・エプロン
- ▽申込み 志津南市民センター
- (5633) 62006まで
- ▽締め切り 9月21日(土)



手話サークルうさぎ

手話サークル結成のきっかけは、平成9年公民館講座「手話教室」で、講座終了後、受講生が「手話サークルうさぎ」を立ち上げ活動を始めました。

手話教室講座では、手話を覚えることだけを目的に

手話より声飛び交って



するのではなく、聴覚に障がいのある人を理解し、お互いを尊重し合える人のつ

ながりを作っていくために学ぶことを教わりました。発足当時、職業もさまざま

な20人余の会員が活発に手話を学び合いました。そして、公民館事業の「やさ

らぎ学級」や「公民館の家庭実験校」「ミュージックソング」等にも参加しました。

また、小中学校へ手話指導に

出かけ「手話は聴覚障がい者にとって大切な言葉であり、コミュニケーションの一つである」ということを遊びを通して伝えたり、子ども達から感動や刺激をたくさんもらいました。

町の中で聴覚障がいのある人に出会った時には、手話を知らなくても筆談や、身振り手振り、表情で答えることができます。ゆつくり話せば読み取っていただけます。大丈夫。通じ合えます。

現在は、少人数で健聴者

こよみ

- 9月16日(月・祝)
 - ★敬老会
13:30~15:00
 - 9月18日(水)
 - ★つどい推進事業ねんど講座
10:00~12:00/13:30~15:30
 - 9月21日(土)
 - ☆健康ウォーキング(若寿会)
8:15 若草中央公園集合
 - 9月24日(火)
 - ★地域サロン:懐メロを歌う会
10:00~11:30
 - 9月25日(水)
 - ★やすらぎ学級 13:30~17:00
 - 9月28日(土)
 - ☆社会奉仕
8:30 若草中央公園集合
 - ★健康推進員・料理講習会
10:00~13:00
 - 10月2日(水)
 - ☆つどい推進事業愛彩菜収穫体験
8:45~13:00
 - 10月4日(金)
 - ★ふれあい昼食会
12:00~13:00 ボランティア「泉」
 - 10月5日(土)
 - ☆健康ウォーキング(若寿会)
8:15 若草中央公園集合
 - 10月6日(日)
 - ★スポーツまつり
9:00~15:00
 - 10月8日(火)
 - ★地域サロン:懐メロを歌う会
10:00~11:30
 - 毎週金曜日
 - ☆ふれあい喫茶(お茶の間)
10:00~12:00 五丁目集会所
- ★印の場所は志津南市民センター(公民館)です

やすらぎ学級

8月28日に、志津南市民センターで今年度第3回目のやすらぎ学級が開催されました。今回は、初めから三つにわかれて、参加者が楽しく交流するサークル活動が行われました。それぞれのサークルで行われたことは次の通りです。

▽川柳サークル

素人ばかり11名、先生も「おらず」皆で楽しく「をモットー」に行っています。2年目に入り、名句(迷句)が多く選考するのに悩んでいます。1人3句を持ち寄り、市民センターの職員さんに整理をして頂き、まとめてもらった資料をもとに1人5句を選考し、上位の天地、人を発表します。その他、特に印象に残った句について話し合いました。

▽カラオケサークル

全員が1人2~3曲の歌をカラオケで歌い、他の人は合唱する形で進めました。歌う曲はたいいてい誰でも知っている曲で、懐メロ、女唄が多い傾向にあります。

▽スポレクサークル

和やかに談笑し、後に囲碁ボードを楽しみました。囲

「青い山脈」を観賞

志津南市民センターは、第3、4回高齢者等つどい推進事業として、映画「青い山脈」(昭和24年度作品)の前編後編を8月29日~30日にわたり上映し、延べ45名が観賞しました。

はじめに聞き慣れた主題歌が流れると、参加者は映画に引き込まれたようでした。そして昔を思い出しながら見た人も多く、観賞後

碁ボールとは、碁盤に見立てた人工芝のマットと、白黒のボール、ゲートボールと同じ形状のスティックを用いて、五目並べを行うニュースポーツです。

この日は37名の参加でした。今後さらに参加者が広がることを期待します。

「古今東西」募集

志津南市民センターでは、次の通り教養文化講座「古今東西」を開催します。

「アンケートには「懐かしい」「当時の時代風景は現代にも通じる」「良き映画時代」などの感想が寄せられました。

なお、今後もしさまざまな企画を進めていきますので、ぜひご参加下さい。

◇ 10月30日(水) 9時~16時

▽集合 市民センター

▽行き先 山本玄匠工房(高島市北船木)と楽農舎(ごみの里観光農園)

▽内容 ①柿渋手描染工房

見学②観光農園での卵拾いとお芋掘り③昼食「かばた館」にて、しよいめし膳

▽参加費 一五〇〇円

(受講料・昼食代など)

▽定員 40名 先着順

▽対象 草津市在住・在勤の方

▽募集期間 9月20日(金)~30日(月) ※参加費を添えてお申込みください。

▽申込・問合せ 志津南市民センターまで 電話563・6206

多数の参加をお待ちしています。

草津特産物収穫体験参加者募集

志津南市民センターはシニアつどい講座として草津特産物収穫体験の参加者を次の通り募集します。

◇ 10月2日(水) 8時45分~13時

▽集合 市民センター

▽行き先 草津あおばな館 周辺農家

▽内容 草津特産物生産者のお話と収穫および定植体験

▽参加費 1100円

(受講料・昼食代)

▽定員 30名 先着順

▽対象 草津市在住・在勤の60歳以上の方

▽募集期間

9月17日(火) 27日(金)

※参加費を添えてお申込みください。

▽申込・問合せ 志津南市民センターまで 電話563・6206

多数の参加をお待ちしています。

折々の記



秋分の日と聞いて何を思い浮かべますか? 国民の休日、昼と夜の長さが同じ、夏から秋に季節が変わる日、などいろいろですが、カレンダーを見ていてふと不思議に思いました。

秋分の日

じになるような気がします。昨日の秋分の日(9月22日)だったのでね。調べてみると、国民の休日の中で秋分、春分の日だけは日付または曜日が規定されていないのです。

志津南地区の2013年

9月23日の日の出から日の入りは12時間8分、少し昼が長いですが、26日が12時間1分で一番昼夜の差が少

てきます。法律では秋分日を秋分の日とするとしています。秋分日は何でしようか。

Wikiによると太陽の軌道である黄道と赤道の延長が交わる点をそれぞれ秋分点、春分点と呼び、そこを太陽が通過する瞬間を含む日を秋分日、春分日と呼ぶようです。だとすると何となく昼と夜の時間が同

国立天文台では日の出日の入り時刻を太陽の上端が地平線と重なる時刻としているようです。そうすると、日の出から日の入りまでの入りから日の出までより太陽の直径分を移動するのにかかる時間を余分に含むことになりそうです。

つまり昼の時間がその分長くなる。他にも理由があるようですが、ともあれ、季節の変わり目を大切にしている日本人ならではの祝日であることは間違いなさそうです。